

第5学年1組 学級活動（2）指導案

1. 日時・場所 平成28年11月16日（水）13:30～ 5年1組教室

2. 題材 5年1組パワーアップ大作戦 vol.7 「あたたかい言葉」
（ウ：望ましい人間関係の形成）

友だちはいいもんだ ～N・E・C～ （ N 仲間 E 笑顔 C challenge）
--

3. 題材について

（1）児童の実態（37名）

3年生より単級で過ごしてきたということもあり、学級のみんながお互いのことをよく理解し、声をかけ合いながら学校生活を送っている。9月の自然教室を経て仲間意識が強まり、学級としてのまとまりが出てきたように感じる。全校遠足や子ども祭りなどの縦割り班活動では、高学年として下級生に声をかけ、楽しみながらも一生懸命に6年生のサポートをする姿が見られた。しかし、あと半年で最高学年になるという自覚をもち、自主的に行動する児童はまだまだ少ない。リーダーとして活躍する6年生の姿を見て、最高学年になることへの意識を高めているところである。

学級活動（2）の授業では、めあてを立てて取り組み、達成することで自分の力になることを実感できることから「5年1組パワーアップ大作戦」と題して取り組んできた。個人のめあてを集団思考を通して考え、一緒に実践していくことで意識を高め合ってきた。これまでは「掃除を見直そう」「思い出に残る自然教室にしよう」「歯を大切にしよう」などの題材で行ってきた。「掃除を見直そう」では「黒板の裏まできれいにする」「オルガンを動かして掃除する」「最後に確認する」などと、自分に合っためあてを立て、一人一人が頑張ることでクラスがパワーアップしていることを実感し、充実感を味わっている。

言葉づかいについては、学級のよい雰囲気が高まっている反面、慣れ合った雰囲気の中で相手の気持ちを考えず、安易に言葉を発する場面が見られる。思春期にさしかかるこの時期は、一人一人の言葉の受け取り方も様々であり、友だち関係に不安を与える原因の一つになり得る。言葉を受け取る側の気持ちを考えて言葉を選ぶよう声をかけているところである。

（2）題材設定の理由

5年生になり、自然教室などを通して人間関係がよくなっていく反面、軽はずみな言葉で簡単に信頼を失ってしまうことも考えられる時期である。6年生に向けて気持ちが高まっているこの時期に友だちの気持ちを考え、日常生活の自分の言葉づかいについて振り返ることは、今後のよりよい人間関係を築くためにも必要だと考える。

また、本校の11月の生活目標は「あたたかい言葉づかいをしよう」である。言葉づかいについて生活目標と関連づけて学習することで意識も高まり、より実践的になる。最高学年となる前に、一人一人が相手の気持ちを考えて言葉を選び、信頼し合える仲間になってほしいと願い、本題材を設定した。

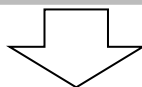
4. キャリア在り方生き方教育子ども像について

◆目指す子ども像◆

自信をもって自分のことを語る子

何にでも自分の考えや思いをもって取り組める子

自分の立てためあてに向かって継続して取り組める子



研究テーマ

夢や希望をもち、自主的、実践的な態度を育む特別活動

本校では毎月、生活目標を立て、毎日カードに達成度を記入することでふり返りを行っている。さらに全学級の代表児童が朝会で1か月の頑張りを発表する機会も設けられており、めあてを意識して生活することは多くの児童に定着してきていると感じる。本学級でも帰りの会の中に輪番制で生活目標をふり返る時間を確保し、めあてを意識して過ごせるようにしてきた。子ども達は「めあてを立てると、意識して過ごすことができる」「達成した時に気持ちがよい」「めあてに向かって頑張ることでパワーアップしている感じがする」と、めあてを立てたり、取り組んだりすることのよさも実感してきた。

現在の子ども達は、テレビやインターネットなどで様々な言葉に触れる機会も多く、たくさんの言葉を知っている。同じ言葉でも話す態度や口調で、受け取る側の印象は異なってくる。普段強く意識することはなく、何気なく交わし合う言葉であるが、その中で相手を傷つける言葉や、相手を励ましたり喜ばせたりする言葉があることを理解し、言葉の大切さに気づいてほしい。

高学年になり仲間意識が強くなっている子ども達。これからよりよいコミュニケーションをとり、豊かな人間関係を築いて生活していくためにもあたたかい言葉は不可欠である。あたたかい言葉について考えることで、来年度、最高学年として委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動などでリーダーになった時に下級生への言葉かけも違ってくるのではないかと考える。また、うまくいかない時も仲間同士であたたかい言葉をかけ合い、みんなで励まし合って乗り越え、達成感を得てほしい。その経験がこれから先、生きていく社会の中でも必ず役立ってくると考える。本題材を通して実践したことがよりよい学級、学校、社会へつながり、子ども達の豊かな人生へとつながっていくことを願っている。

5. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学校・学級集団の中で、様々な人と協力・信頼し、支え合える好ましい人間関係を築こうとしている。	友だちの立場や個性・役割を認め、よりよい人間関係を築くためにはどうしたらよいかを考えて行動することができる。	信頼関係のある、あたたかい学級集団にするための方法を理解している。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)	資料
11月8日 (火) 朝 (特活タイム)	・言葉づかいについてのアンケートに記入する。	○普段の言葉づかいについてふり返り、アンケートを書くように声をかける。 ☆普段の言葉づかいについて考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	アンケート用紙 (資料2)
11月11日 (金) 朝 (特活タイム)	・ふわふわ言葉、 チクチク言葉 について考え、 出し合う。	○中学年で学習したことを思い出せるよう、声をかける。 ○普段の言葉づかいについてふり返り、授業への意識が高まるように声をかける。 ☆普段の言葉づかいについて考え、ふわふわ言葉とチクチク言葉を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)	

(2) 本時の活動

①ねらい 日々の言葉づかいについて話し合い、あたたかい言葉をつかうためのめあてを立てる。

②視点 話し合いや資料から自分に合った具体的なめあてを立てることができていたか。

③展開

	児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)	資料
		Ⓞキャリア在り方生き方教育の視点から見て大切なこと	
導入	1. チクチク言葉について考える。	○チクチク言葉について考え、言葉で嫌な思いをしている児童がいることに気づかせる。 ☆気づいたことを進んで発表しようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	チクチク言葉掲示 (児童の意識を高めるための資料・資料1)
展開	2. なぜ嫌な言葉を使ってしまうのか原因を考える。 3. あたたかい言葉について話し合う。 4. あたたかい言葉をつかうとどんなよいことがあるのか考える。	○なぜ嫌な言葉を言ってしまうのか原因を考え、解決する意識を高める。 ○どのような場面でどのような言葉をかけるとよいかを考えるよう促す。 ○そのときの話す態度や口調によっても相手の感じ方が変わることを全体で確認する。 ○あたたかい言葉のよさを考えられるように声をかける。 ☆あたたかい言葉を理解し、つかうことのよさを理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)	アンケート結果 (ねらいを焦点化するための資料・資料2) ワークシート (実践への意欲づけのための資料・資料3)
終末	5. あたたかい言葉についてめあてを立て、発表する。	○自分がすぐに実践できるよう、具体的に書くように伝える。 ☆あたたかい言葉をつかうためにどのようなことを心がけたらよいかを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	
		Ⓞあたたかい言葉をつかうことで豊かな人間関係が築きやすくなることを伝える。	

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
11月17日(木) ～ 11月26日(金)	・自分が立てためあてについて帰りの会でふり返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">㊦キャリア在り方生き方教育の視点から見て大切なこと</div> ○日々の生活でめあてを意識して過ごせるよう、声をかける。 ☆自分のめあてを意識し、実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月18日(金) 朝(特活タイム)	・あたたかい言葉を気持ちよくつかっていくために「じょうずな聞き方・話し方」について考える。 (キャリア在り方生き方ノート20ページ)	○日々の生活であたたかい言葉の聞き方や話し方について考えられるよう、声をかける。 ☆みんなで気持ちよく実践していくために、じょうずな聞き方や話し方について考えようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月26日(金)	・自分が立てためあてのふり返りを書く。	○めあてを意識して日々実践できたかを視点にふり帰りを書くように伝える。 ○今回のめあては、今後の学校生活でも意識できることを伝え、声をかけていく。 ☆日々の言葉づかいを思い起こし、めあてを考えてふり返りを書いている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">㊦今後の学校行生活の中でも目標や意欲をもって取り組むように促す。</div>

7. 板書計画

5年1組パワーアップ大作戦 vol.7 あたたかい言葉について考えよう。

めあて

「あたたかい言葉」

どんな時に

どのように

どんな言葉を

いやな言葉を言われたら...

大縄で...

やさしく

「どんまい」

いやな気持ちになる

朝

元気に

おはよう

悲しい、イライラする

困っている...

笑顔で

大丈夫？

なぜつかってしまうのですか。



つい... イライラして...

言い方・態度・口調・表情も大切

相手の気持ちを考えられなくて...

気をつけている いやな言葉を使った... あたたかい言葉をつかうと

どんなよいことがありますか。



わかっているにもかかわらず

みんなが気持ちよく生活できる

もっと仲良くなれる

学校が楽しくなる